

一口メモ

ベイリー検査では、臨床発達心理士が1対1で子どもと向き合い、積み木や輪っか、絵本などを見せ、話し掛けながら一緒に遊ぶ。言葉や音、おもちゃに対する反応、遊ぶ姿などを見ながら総合的に分析し、表現力や理解力、運動能力、コミュニケーション能力など発達度合いを評価する。

知いたい! 治療の最前線

◇4

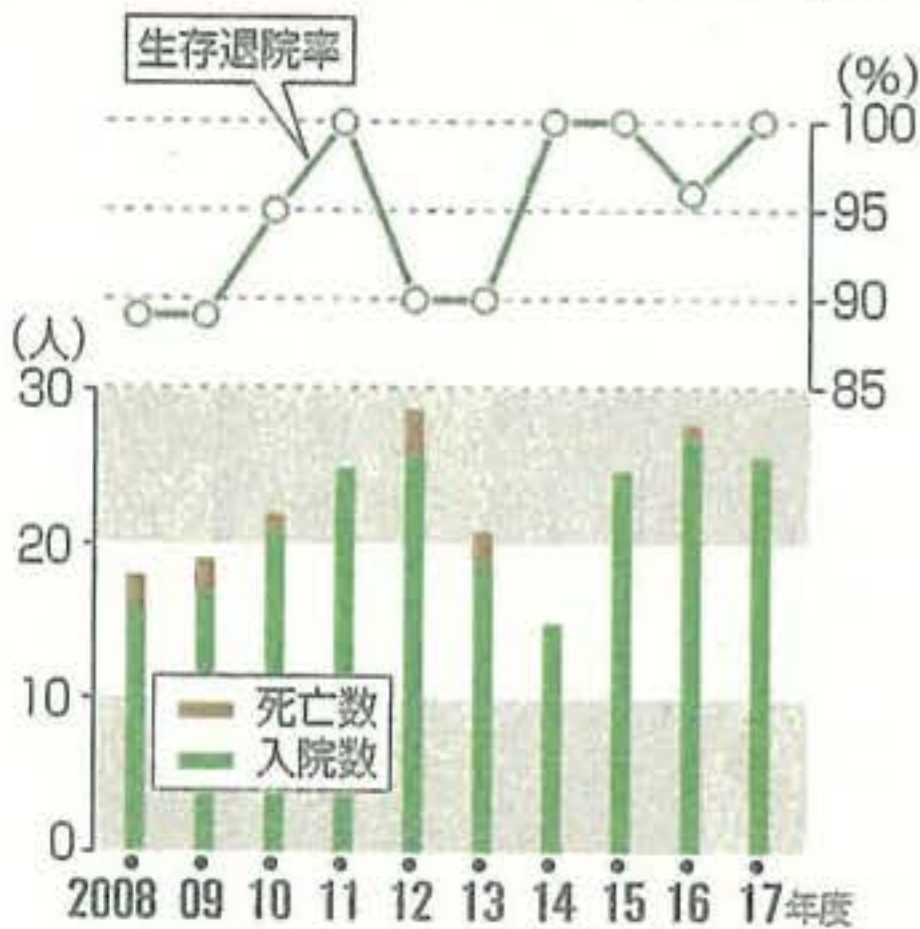
極低出生体重児

赤ちゃんは成人と比べて体が小さく臓器も未成熟なため、特別な注意が必要です。中でも生まれた時の体重が1500g未満の赤ちゃんは「極低出生体重児」と呼ばれ、発育や発達に問題が生じる可能性が高くなっています。そのため出生直後から高度な医療を必要とし、退院後も経過を慎重に見守らなければなりません。

出生前から適切に管理

極低出生体重児の入院数と生存率

※は1,500g未満の体重児、富山大学附属病院の年度別実績



た産婦人科では、子宮内での胎児の状況を正確に評価して治療しており、全国でもトップクラスの早産予防管理が可能となっています。

が、出生前から適切に管理することで、元気に退院している赤ちゃんが増えています。このように新生児医療は特別な管理を必要とします。当院

ベイリー検査で発達評価

富山大附属病院の周産母子センターは、妊婦さんと赤ちゃんを診療する部門です。特徴として、出生前から出生後の治療、そして退院した子どもたちの発達支援まで切れ目なく行っていることが挙げられます。リスクの高い妊婦さんには、出生前から産婦人科と協力して母体と胎児の治療方針を決定し、その後の赤ちゃんの治療につなげます。ま

NICU・GCU 予定日より早く生まれた赤ちゃんや疾患のある赤ちゃんは、新生児集中治療室(NICU)に入院します。状態が安定すると継続保育室(GCU)に移り、退院に備えます。当院の極低出生体重児の出生数と生存退院率の年度別実績をグラフに示します。入院数は近年増加傾向にあります



吉田 丈俊

富山大附属病院 周産母子センター長

NICU・GCUでは、新生児集中治療専門の認定看護師を2人配置し、臨床心理士によるご両親への心理的なサポートも行っていきます。

世界で最も使われている「ベイリー発達検査」を導入しました。ベイリー発達検査は、臨床心理士がおもちゃや絵本などを使いながらお子さんの発達を評価する検査です。検査項目が多岐にわたるので、正確に赤ちゃんの発達を評価できます。この検査を1歳6カ月頃から行



臨床心理士から「ベイリー発達検査」を受けるお子さん＝富山大附属病院周産母子センター

無事退院した赤ちゃんは定期的に小児科外来へ通院します。私たちの次の役割は、お子さんの身体の成長と、言葉や会話などの発達を支援していくこととなります。客観的に発達を評価するために、ハイリスクなお子さん(主に極低出生体重児)には外来で発達検査をします。特に、当院は全国に先駆けて、

次回11日に掲載します。